

(別添)

2019年6月27日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中 部 支 所

News Release

エアコン・扇風機の事故に注意 ～6月から急増！多くは火災事故～ ～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) が収集した扇風機やエアコンによる事故情報は、東海地方4県 (静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県) では、2013年度～2017年度までの5年間に合計51件^{※1} (エアコン38件、扇風機13件) あり、被害状況は死亡2件、重傷1件などとなっています。事故の多くは火災に至り、2017年度は報告された6件 (エアコン5件、扇風機1件) 全てが火災です。

1. エアコン・扇風機による製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1にエアコン、表2に扇風機による製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 エアコン「県別」及び「年度別」の事故発生件数 (単位: 件) ^{※2}

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
2013年度	1 (1)	6 (5)	1 (1)	4 (4)	12 (11)
2014年度	2 (2)	1 (1)	0	0	3 (3)
2015年度	1 (1)	3 (3)	2 (2)	0	6 (6)
2016年度	5 (5)	5 (3)	1 (1)	1 (1)	12 (10)
2017年度	2 (2)	2 (2)	1 (1)	0	5 (5)
合計	11 (11)	17 (14)	5 (5)	5 (5)	38 (35)

(※1) 2019年5月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※2) () は火災件数。

表2 扇風機「県別」及び「年度別」の事故発生件数（単位：件）※2

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
2013年度	2 (1)	3 (2)	0	0	5 (3)
2014年度	1 (1)	0	0	0	1 (1)
2015年度	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (3)
2016年度	0	1 (1)	2 (2)	0	3 (3)
2017年度	0	1 (1)	0	0	1 (1)
合計	3 (2)	6 (5)	3 (3)	1 (1)	13 (11)

(2) 東海4県の月別 事故発生件数

図1にエアコン・扇風機による製品事故の「月別」の事故発生件数を示します。エアコンは、7月に、扇風機は6月～8月に事故が多く発生しています。

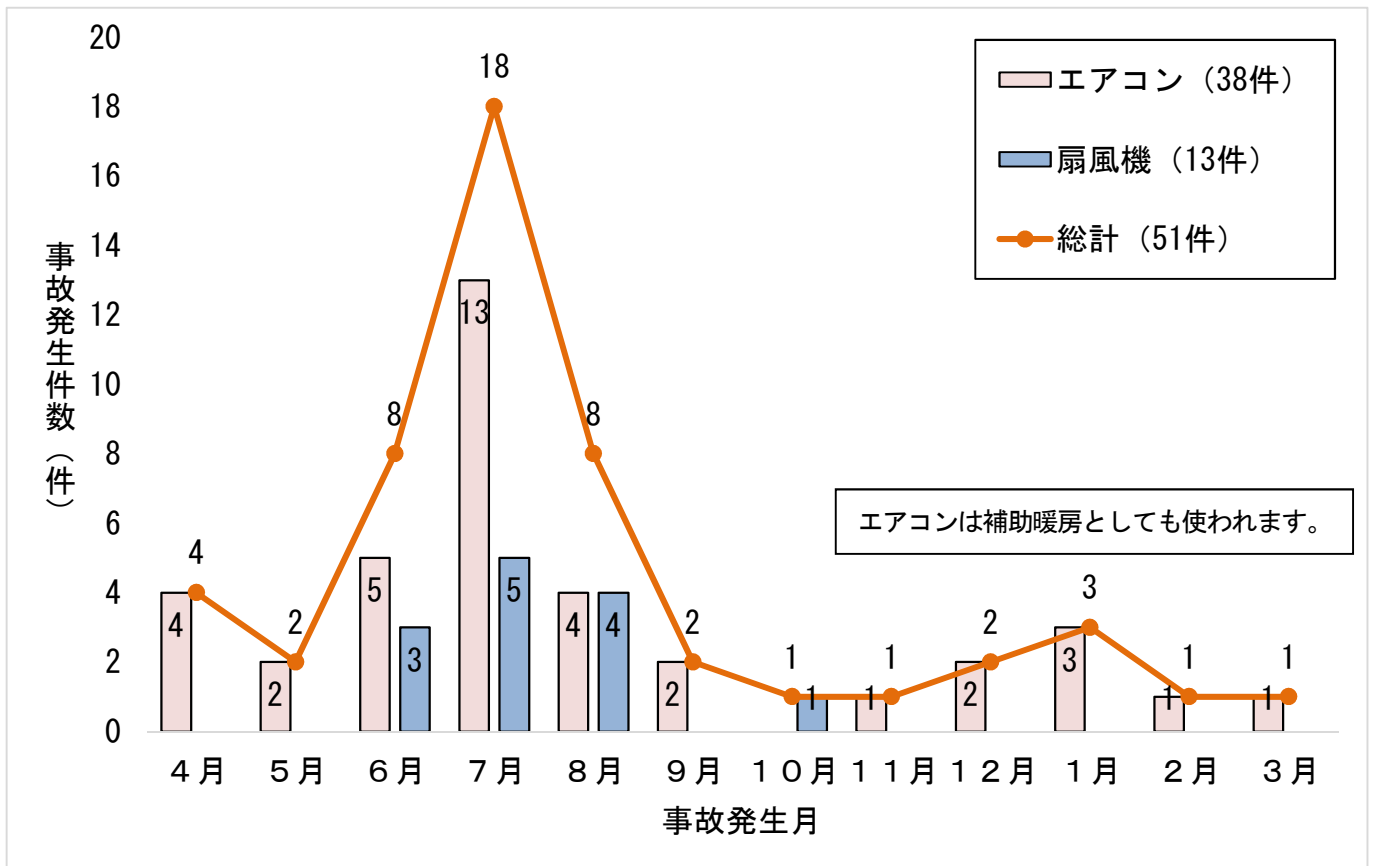


図1 エアコン・扇風機「月別」の事故発生件数（2013～2017年度）（単位：件）

(3) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 3 にエアコン、表 4 に扇風機による製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表 3 エアコン「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※2}

被害状況 ^{※3}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	重傷	0	1	0	0	1
	軽傷	0	1	0	0	1
物的被害	拡大被害	10 (10)	9 (9)	4 (4)	3 (3)	26 (26)
	製品破損	1 (1)	5 (4)	1 (1)	2 (2)	9 (8)
合計		11 (11)	17 (14)	5 (5)	5 (5)	38 (35)

表 4 扇風機「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

被害状況 ^{※3}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	1 (1)	0	1 (1)
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	1 (1)	0	0	1 (1)
物的被害	拡大被害	2 (2)	5 (4)	2 (2)	1 (1)	10 (9)
	製品破損	1	0	0	0	1
合計		3 (2)	6 (5)	3 (3)	1 (1)	13 (11)

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている

2. エアコン・扇風機による製品事故の事故事例

(1) エアコン

イ. エアコン内部への虫の侵入により出火し、内部部品を焼損した。

2013年6月（三重県、年代不明・性別不明、製品破損）

【事故内容】

エアコンを使用中、異音に気付き確認すると、エアコンから発煙し、内部部品を焼損する火災が発生していた。

【事故原因】

エアコンの制御基板ケース内に虫が侵入し、制御基板の高圧部に接触したため、短絡・スパークが発生し、出火に至ったものと推定される。

ロ. 洗浄液の付着によりトラッキングが発生し、内部部品を焼損した。

2016年7月（静岡県、年代不明・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

宿泊施設で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

不適切な洗浄により洗浄液がファンモーターのコネクター部に付着し、端子間でトラッキング現象が生じたため出火に至ったものと推定される。

ハ. 途中接続によりエアコン室外機付近から出火し、周辺を焼損した。

2016年7月（岐阜県、年代不明・男性、拡大被害）

【事故内容】

エアコン室外機付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故原因】

施工業者が室内機と室外機を接続する配線を差し込みコネクターにより途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。

なお、据付説明書には、「配線を途中接続しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

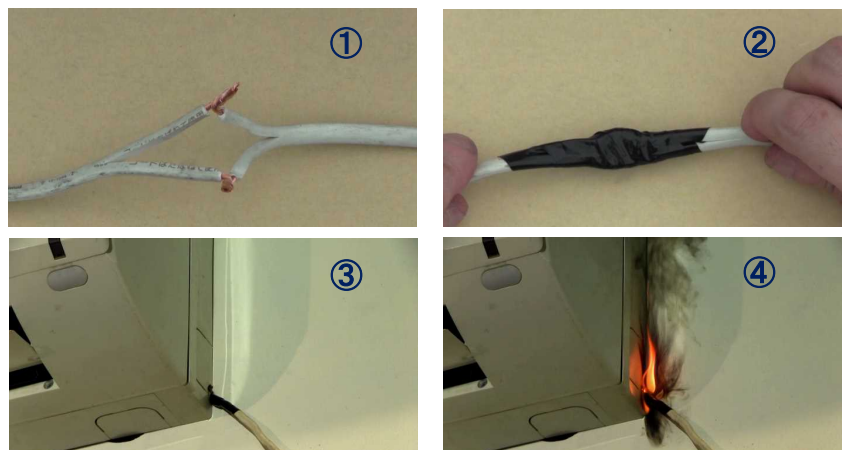


写真2 エアコンの電源コードねじり接続による発火実験

(2) 扇風機

イ. リコール製品と知らずに使用して、羽根が破損した。

2013年7月（愛知県、40歳代・女性、拡大被害）

【事故内容】

ネット通販で購入した扇風機を使用中、倒れてガードが外れ、割れた羽根が飛び散って床に傷がついた。

【事故原因】

羽根製造時のアニール処理（冷却時の歪み除去）が不十分であったため、残留ひずみに伴う応力の影響で、使用時の振動等によって亀裂が生じて伸展し、羽根が破損して回転バランスが崩れ、転倒に至ったものと推定される。

※： 輸入事業者は、ホームページに社告を掲載し、羽根の破損が確認された製造年の生産品を対象に回収を行っていた。

ロ. 長期使用により、コンデンサーが劣化し、内部短絡が生じて火災に至った。

2016年8月（岐阜県、年代不明・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

扇風機を使用中、扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

扇風機は、長期使用（40年以上）により、運転用コンデンサーの絶縁性が劣化し、短絡・スパークが生じて出火に至ったものと推定される。



写真1 古い扇風機の発火実験

＜参考＞ 東海4県における扇風機の使用期間別 事故発生件数

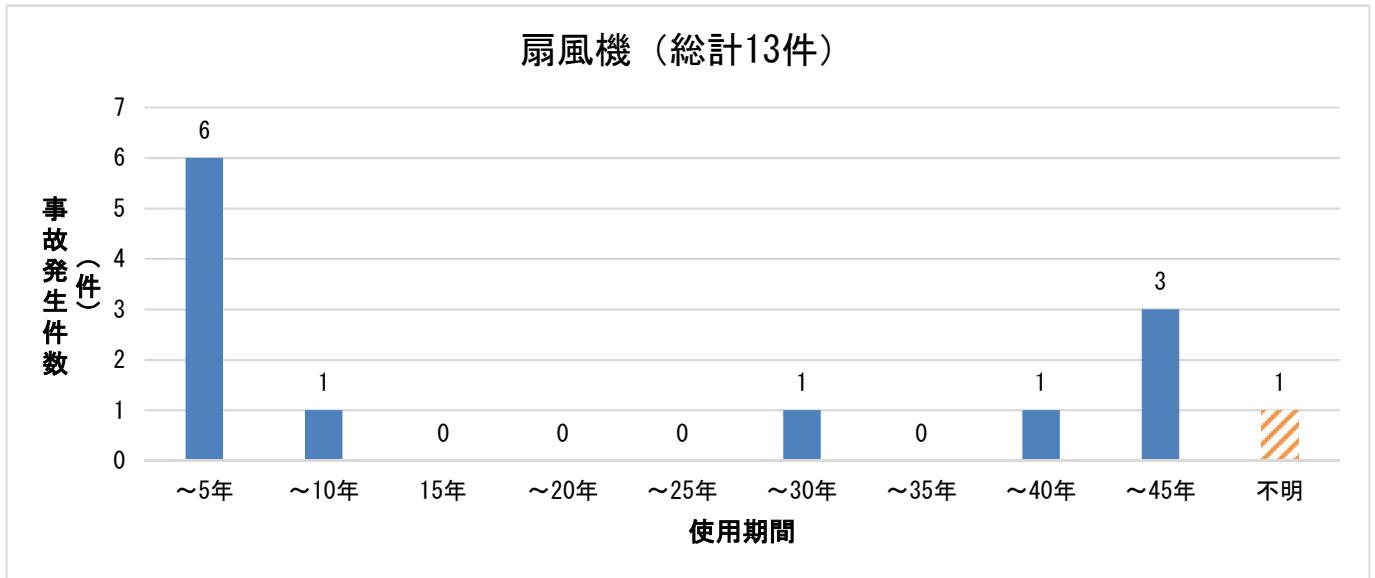


図2 扇風機の使用期間別 事故発生件数（2013年度～2017年度）（単位：件）

3. エアコン・扇風機による製品事故の実験映像について

エアコン・扇風機による製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE（ナイト）・中部支所」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館
 独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所
 支所長 葛谷 弘之
 担当者：製品安全技術課 酒井、齋藤
 電話：052-951-1933 FAX：052-951-3902

以上